



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 小倉 忠
 (氏名) 中村 吉雅

TEL 052-561-7116

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	80,720	13.4	2,309	71.4	3,376	46.6	3,382	162.2
27年3月期第3四半期	71,198	10.5	1,347	—	2,302	179.9	1,289	92.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 3,786百万円 (△31.1%) 27年3月期第3四半期 5,493百万円 (△23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	23.55	—
27年3月期第3四半期	8.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	146,082	84,722	56.0	569.25
27年3月期	145,836	82,817	54.1	549.59

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 81,737百万円 27年3月期 78,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	11.1	2,800	27.8	3,800	12.1	3,500	69.9	24.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	158,428,497 株	27年3月期	158,428,497 株
28年3月期3Q	14,839,964 株	27年3月期	14,821,960 株
28年3月期3Q	143,597,976 株	27年3月期3Q	143,623,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は807億20百万円（前年同期比13.4%増加）、営業利益は23億9百万円（前年同期比71.4%増加）、経常利益は33億76百万円（前年同期比46.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億82百万円（前年同期比162.2%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

（工業機材）

国内市場では、主要客先である自動車の生産に回復の兆しが見られるものの、鉄鋼、ベアリング、電子半導体の減産の影響を受け、売上げは減少しました。海外市場では、景気の減速が一層鮮明となった中国で、鉄鋼向けが生産調整の影響を受けて伸び悩み、タイ国も全体的に低調に留まりましたが、米国においては自動車生産が堅調に推移したことに加え、円安の影響を受けたことにより、売上げは増加しました。日本レヂボンの事業は、インドネシア向けが回復するなど好調に推移しました。その結果、工業機材事業の売上高は431億22百万円（前年同期比31.0%増加）、営業利益は12億78百万円（前年同期比131.1%増加）となりました。

（セラミック・マテリアル）

電子ペーストは、MLCC用が国内向けに堅調に推移しましたが、太陽光発電用の売上げは大きく減少しました。石膏は、東南アジア向けが好調に推移しましたが、厚膜回路基板は、車載用が大きく減少しました。蛍光表示管は、国内及び米州向けが堅調であったことに加え、円安の影響を受け増加しました。共立マテリアルの事業は、セラミック原料が堅調に推移し、電子部材も前年並みとなりましたので、売上げは増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は217億88百万円（前年同期比6.2%減少）、営業利益は12億37百万円（前年同期比9.1%増加）となりました。

（エンジニアリング）

主力の乾燥炉及び焼成炉は、電子部品向け及びリチウムイオン電池向けが共に堅調に推移したことから、売上げは増加しました。混合攪拌装置は、化学、食品向けが好調に推移し、濾過装置がほぼ前年並みとなったことから、売上げは増加しました。超硬丸鋸切断機は、国内向けは堅調でしたが、アジア向けが減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は83億43百万円（前年同期比4.1%増加）、営業利益は55百万円（前年同期比127.6%増加）となりました。

（食器）

国内市場では、百貨店向けの販売が増加し、ホテル・レストラン向けも堅調に推移したことから、売上げは増加しました。海外市場では、米国市場及び欧州市場は低迷したものの、アジア市場において一般消費者向け及びエアライン向けが好調に推移したため、売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は74億66百万円（前年同期比5.9%増加）、2億61百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことに加え、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ2億45百万円増加し、1,460億82百万円となりました。

負債は、短期借入金が増加したものの、1年内償還予定の社債及び1年内返済予定の長期借入金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ16億60百万円減少し、613億59百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定及び非支配株主持分が減少したものの、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ19億5百万円増加し、847億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、中国経済の減速、欧州及び新興国の景気低迷など世界情勢の先行きや為替及び株式市場の動向など第4四半期における事業環境に不透明な要素が多いことから、親会社株主に帰属する当期純利益を除き、前回予想を据え置いております。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	2,800	3,800	3,200	22.28
今回修正予想 (B)	110,000	2,800	3,800	3,500	24.38
増減額 (B - A)	—	—	—	300	—
増減率 (%)	—	—	—	9.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	99,038	2,191	3,389	2,059	14.34

(注) 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が49百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,530	9,676
受取手形及び売掛金	27,938	29,063
電子記録債権	1,352	2,111
商品及び製品	8,644	8,658
仕掛品	3,829	4,962
原材料及び貯蔵品	4,582	4,446
その他	2,498	2,310
貸倒引当金	△21	△35
流動資産合計	61,354	61,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,252	17,774
その他(純額)	27,258	26,453
有形固定資産合計	45,511	44,228
無形固定資産		
	1,281	1,190
投資その他の資産		
投資有価証券	34,227	36,166
退職給付に係る資産	2,481	2,232
その他	1,102	1,194
貸倒引当金	△121	△122
投資その他の資産合計	37,690	39,470
固定資産合計	84,482	84,889
資産合計	145,836	146,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,108	9,987
電子記録債務	387	5,448
短期借入金	3,400	12,955
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,660	482
未払法人税等	695	429
引当金	1,422	424
設備関係支払手形	826	306
営業外電子記録債務	—	492
その他	5,485	4,818
流動負債合計	36,985	35,345
固定負債		
長期借入金	15,277	14,944
引当金	832	265
退職給付に係る負債	2,083	2,039
その他	7,841	8,764
固定負債合計	26,034	26,013
負債合計	63,019	61,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,783
利益剰余金	35,735	38,256
自己株式	△3,985	△3,990
株主資本合計	66,215	68,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,516	14,647
為替換算調整勘定	△759	△1,647
退職給付に係る調整累計額	△47	55
その他の包括利益累計額合計	12,709	13,055
非支配株主持分	3,892	2,985
純資産合計	82,817	84,722
負債純資産合計	145,836	146,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	71,198	80,720
売上原価	52,346	59,043
売上総利益	18,852	21,677
販売費及び一般管理費		
販売費	12,675	13,221
一般管理費	4,828	6,145
販売費及び一般管理費合計	17,504	19,367
営業利益	1,347	2,309
営業外収益		
受取利息	32	45
受取配当金	476	549
受取賃貸料	296	241
為替差益	159	87
持分法による投資利益	168	298
その他	103	134
営業外収益合計	1,238	1,355
営業外費用		
支払利息	116	122
固定資産賃貸費用	92	121
支払手数料	39	—
その他	34	44
営業外費用合計	283	288
経常利益	2,302	3,376
特別利益		
固定資産売却益	3	1,469
投資有価証券売却益	—	22
段階取得に係る差益	76	—
負ののれん発生益	13	—
特別利益合計	94	1,492
特別損失		
固定資産処分損	303	169
減損損失	3	320
その他	0	0
特別損失合計	307	490
税金等調整前四半期純利益	2,089	4,378
法人税、住民税及び事業税	726	937
法人税等調整額	69	△163
法人税等合計	796	774
四半期純利益	1,292	3,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	221
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,289	3,382

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	1,292	3,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,739	1,126
為替換算調整勘定	1,255	△1,020
退職給付に係る調整額	240	106
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△29
その他の包括利益合計	4,200	183
四半期包括利益	5,493	3,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,170	3,728
非支配株主に係る四半期包括利益	323	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	32,919	23,216	8,012	7,049	71,198
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	553	1,134	24	△364	1,347

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、日本レヂボン株式会社の株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めたこと等により、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「工業機材」セグメントにおいて、14,551百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「工業機材」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に日本レヂボン株式会社の株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益を13百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	43,122	21,788	8,343	7,466	80,720
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,278	1,237	55	△261	2,309

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業機材」セグメントにおいて、遊休状態にあり今後も使用の目処が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として320百万円を計上いたしました。